

城端線・氷見線沿線地域公共交通計画（案）に対する意見の概要と考え方（パブリックコメント）

1. パブリックコメント概要

- (1) 実施期間 令和4年4月27日（水）から令和4年5月20日（金）
- (2) 募集方法 意見書提出（郵送、FAX、Eメールなど）及び電子申請
- (3) 意見件数 12名 20意見

2. ご意見への対応・考え方

No.	意見概要	意見数	意見に対する考え方
1	城端線については、地域住民にとっての利便性向上に重きを置くべきで、少子化により今後通学利用者の増加が見込めないことを考慮すると、比較的駅から近い商業施設や病院、新高岡駅（新幹線への乗継ぎ）を目的地とした地域住民の利用増加を主たる目的とすべき。	1件	城端線及び氷見線については、通勤・通学者を中心に、従来から沿線住民の日常生活の足として利用されておりますが、沿線人口の減少により利用者数の減少も懸念されるところです。いただいたご意見については、「目標1 地域の暮らしを支え利便性の高い公共交通網の形成」を目指す取組みの参考とさせていただきます。
2	JR西日本に対して、存続を強く求め、利用が増えるような取組みを要望して欲しい。	1件	「目標3 まちづくりと連動した持続可能な公共交通網の形成」を目指す取組みの参考とさせていただきます。
3	城端線は高校に通う学生には重要な路線のため、廃止にならないよう、利用者を減少させない対策をとってほしい。	1件	城端線及び氷見線においては、学生が高校等に通学するため重要な路線であり、少子化、沿線人口が減少していく中でも、利用者数を維持させていくことが重要と考えております。通勤・通学等の定期利用者の他、観光利用や沿線でのイベント開催、公共交通の利用啓発等の取組みを実施し、定期外利用者数の増加を目指します。（目標1、3に関連）

No.	意見概要	意見数	意見に対する考え方
4	朝の車両数を増やしてほしい。 混み合う朝夕の時間帯は3～4本運行して欲しい。	2件	城端線における運行本数等については、利用状況や市民ニーズ等を勘案しながら、利便性の向上と利用者数の維持を目指し検討していきます。(取組み事業1に関連)
5	JR 城端線・氷見線の LRT 化を提案する。	1件	現在、JR 西日本・富山県・沿線4市で組織する「城端線・氷見線 LRT 化検討会」の中で、LRT 化を含む持続可能な交通体系について、様々な観点から実現方法及びその可能性を含めて検討しています。(取組み事業2に関連)
6	LRT の先進的なイメージに惑わされず、各路線の特性に合った活性化を考えるべき。 後世に大きな負担になるものを残すことが無いよう、きちんと試算したうえで城端線・氷見線をどのような交通体系にするのか検討して欲しい。	2件	城端線・氷見線 LRT 化検討会では、将来にわたり城端線・氷見線を維持していくため、LRT 化など安全で持続可能な公共体系について検討を進めています。持続可能であるためには、イニシャルコストだけではなく、ランニングコストも重要なことから、LRT 以外の交通モードも含め幅広く検討していくこととしています。(取組み事業2に関連)
7	あいの風とやま鉄道との直通化を捨てるべきではない。また、城端から富山までの直通強化のための電化も検討すべき。それによって新幹線やイオンモール高岡へのアクセスが格段に向上することが期待される。	1件	城端線・氷見線 LRT 化検討会では、LRT 化を含む持続可能な交通体系について、沿線市の将来的なまちづくりとの整合、利用者の利便性向上、観光振興による活性化など様々な観点から実現可能性およびその可能性を含めて検討しています。頂いたご意見については、検討の参考とさせていただきます。(取組み事業2、3に関連)
8	高岡駅の電化方式は交流であるため、万葉線と城端線との接続が難しい。そのため、城端線と万葉線の接続を考える場合は直流、考えない場合は交流となる。 万葉線と城端線が直通になる場合、各駅に低床設備が必要となるが、福井鉄道のように高床低床両方設けることで、乗り入れる列車の柔軟性に対応できると考えられる。	1件	

No.	意見概要	意見数	意見に対する考え方
9	城端線・氷見線間が乗り換えなく移動できることで、便利になり利用者の増加に繋がるのではないかと思うので、直通化に向けて進めて欲しい。	1件	城端線・氷見線LRT化検討会では、城端線・氷見線の直通化についても検討しています。頂いたご意見については、検討の参考とさせていただきます。(取組み事業2、3に関連)
10	城端線・氷見線に交通系ICカードを導入して欲しい。	2件	城端線・氷見線LRT化検討会と連携しながら、交通系ICカードシステム利用可能エリアの拡大について検討を進めていきます。(取組み事業4に関連)
11	城端線・氷見線と他の公共交通との接続を改善して欲しい。	1件	あいの風とやま鉄道や北陸新幹線、路線バス等との接続を考慮した運行ダイヤの検討を行っていきます。(取組み事業6、7、9に関連)
12	公共交通の運行範囲や運行本数を充実させてほしい。	1件	城端線における運行本数については、利用状況や市民ニーズ等を勘案しながら、利便性の向上と利用者数の維持を目指し検討していきます。(取組み事業1に関連) また、市民のニーズや沿線のまちづくりの動向に合わせ、バスの運行ルートや必要なバス路線を検討するとともに、地域が主体となって取り組む地域交通の導入等の検討を進めていきます。(取組み事業9に関連)
13	目的地がないと公共交通は利用しないため、高岡駅周辺にもっと人が集まるようなことを行ってはどうか。	1件	公共交通の利用者数を増やすには、目的地が公共交通の駅やバス停が近くにあることは大きいと要素と考えます。駅やその周辺の魅力向上はもちろんのこと、高岡駅前の商業機能や沿線でのイベント等と連携し乗車機会の創出を図っていきます。(取組み事業14、16に関連)

No.	意見概要	意見数	意見に対する考え方
14	駅周辺の駐車場ニーズに対する対策として、全駅に①乗降客用駐輪場、②送迎用自家用車停車スペース、③パークアンドライド用の駐車スペースを確保して欲しい。	2件	駅周辺の広場や駐車場等の整備については、安全上の課題や利用状況等を踏まえるとともに、駅周辺の土地利用の状況を勘案し、整備を検討する必要があると考えます。いただいたご意見は、検討の参考にさせていただきます。(取組み事業 14. 18 に関連)
15	公共交通利用習慣の低下の防止策として、回数乗車券を活用した非定期利用者の乗車機会を増やす取り組みを実施して欲しい。	1件	自動車依存からの脱却を図り、公共交通を中心としたライフスタイルの定着を目指します。そのために、モビリティマネジメントの推進や公共交通利用者へのインセンティブ導入の検討をしていきます。(取組み事業 18、21 に関連)
16	高齢者が安心して免許返納できるよう、返納者に対する運賃割引や補助支援をしっかりと行っていくべき。	1件	各市の事業として、自動車運転免許返納者への公共交通利用割引の適用等のサービスの継続・拡充を行っていきます。(取組み事業 21 に関連)